

授業改善研修会 総合的な学習の時間

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局
義務教育課 教科指導係

昨年度の取組

- 探究課題と出会う場面で、体験活動や専門家の話を聞く機会など、自分事として課題を捉えられるような活動を設定する。
- 子供の思いや願いをつなぐ学習過程や授業展開を工夫する。
- 全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成し、互いの専門性や特性を發揮し合って実践していく校内推進体制を整える。

① 探究課題の出会いと単元の課題の設定

「つかむ」過程

教師の意図的な働きかけが大切になってくる。

例) 美土里小6年
指導と評価の計画

時	学習活動	知	思	主
1~8	探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 11時間			
つかむ	【探究課題と出会う】 ・自分の考えや家族にインタビューした内容を伝え合う。(あ)(a)(b)(i) ・美土里小校区周辺の史跡を散策する。(い)(う)(c)(ii)			
	【単元の課題を把握する】 ・散策したことを基に、美土里小校区のまちづくりの課題について話し合う。 ・藤岡市商工観光課の職員の話に基づき、藤岡市のまちづくりの現状を知り、自分たちの藤岡市に対するイメージとのずれに気付く。(iii) ・藤岡市の広報パンフレットを見て、藤岡市のよさや課題を話し合う。 ・「調べた魅力を発信し、観光客を増やしたい」という児童の思いを基に、単元の課題を設定する。			
9,10	単元の課題 藤岡市にたくさんの人が訪れてくれるように、藤岡市の魅力を伝えよう！ ・単元名を、学年全体で話し合って決める。 単元名 藤岡の魅力 伝え隊			
11	【追究の見通しをもつ】 ・藤岡の魅力伝え隊の今後のおおまかな学習計画を立てる。			

インタビュー体験活動

観光課の職員の話聞き、今までの自分との考えとのズレに気付く

ゴールイメージを話し合い、単元の課題を設定する

単元名の設定ゴールイメージをキャッチフレーズ化

③ 校内推進体制の整備

【前提条件】

各学校の教育目標の実現に当たって、総合的な学習の時間が重要な役割を果たすことを全教職員で理解

ア 校長先生の方針

校長先生から自分の学校のビジョンを全教職員に説明

教師が知恵を出し合ったり、相談し合ったりできる体制や雰囲気づくり

イ 指導計画の作成

全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成

ウ 実践

互いの専門性や特性を發揮し合って実践

児童生徒の学習の進行によって、支援者は変化

～本日の内容～

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針
～総合的な学習の時間の「特に現れてほしい子供の姿と重点」～
- 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」を具現化するために
～本単元を基に～

本日のまとめ

- 子供自身が自らの思いや願いの実現に向かう学習活動を、教職員が協力して意図的に構想しましょう。
- 子供と共に悩んだり喜んだりしながら、教師も子供と一緒に探究を楽しみましょう。

1. 令和6年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と重点～

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

総合的な学習の時間

○よりよい課題の解決に向けて、多様な他者との関わりから自分の考えを確かにしている

各教科等の指導の重点

- ・児童生徒の実態を十分に把握し、探究課題との出会いをもとに、現在の状況を他と比較する活動を設定する。
- ・目的や相手を確認したり、考えを整理したりして児童生徒を支えながら、共に学ぶ姿勢を大切にする。

教師が「『～させる』活動あって学びなし」の授業ではなく、

児童生徒が「よりよく課題を解決するために探究する」授業になっていますか？

1. 令和6年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と重点～

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

総合的な学習の時間

○よりよい課題の解決に向けて、多様な他者との関わりから自分の考えを確かにしている

自分の考えに自信をもっている、
自分の意見をはっきりと表現している、
考えを広げている、考えを深めているなど

唯一の正解が存在しない課題の解決
(納得解・最適解)

学級の友達、異学年の児童生徒、保護者、
地域の人々、専門家など

話し合う、話を聞く、助言をもらう、
一緒に活動するなど

多様な他者と関わり、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成

1. 令和6年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と重点～

つかむ過程

共通の体験活動や専門家の話を聞く機会の設定

各教科等の指導の重点

時間軸

過去はどうだったか、未来はどうあるべきか

空間軸

他の地域や国ではどうなのか

立場軸

自分以外の専門家や地域の大人、友達の考えはどうか

- ・ 児童生徒の実態を十分に把握し、探究課題との出会いをもとに、現在の状況を他と比較する活動を設定する。
- ・ 目的や相手を確認したり、考えを整理したりして児童生徒を支えながら、共に学ぶ姿勢を大切にする。

問題点

ズレ、隔たり

魅力

可能性

自分事化



1. 令和6年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と重点～

各教科等の指導の重点

児童生徒に任せきりにせず、教師も子供と共に学ぶ学習者として、タイミングよく、助言をしたり問い直したりすることが重要

- ・ 児童生徒の実態を十分に把握し、探究課題との出会いをもとに、現在の状況を他と比較する活動を設定する。
- ・ 目的や相手を確認したり、考えを整理したりして児童生徒を支えながら、共に学ぶ姿勢を大切にする。

自分事化

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

ための教師の役割

《取り入れたい場面》



2. 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本日のまとめ

- 子供自身が自らの思いや願いの実現に向かう学習活動を、教職員が協力して意図的に構想しましょう。
- 子供と共に悩んだり喜んだりしながら、教師も子供と一緒に探究を楽しみましょう。

教師の意図の共有と発揮

子供と共に学ぶ教師の役割

2. 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本日のまとめ

- 子供自身が自らの思いや願いの実現に向かう学習活動を、教職員が協力して意図的に構想しましょう。
- 子供と共に悩んだり喜んだりしながら、教師も子供と一緒に探究を楽しみましょう。

教師の意図の共有と発揮

子供と共に学ぶ教師の役割

三つの視点から生徒の姿を思い描く

吉岡中の実践

< 単元名 >

「自信と笑顔であふれる未来の自分

～職場体験や学校生活を生かして～」（第2学年32時間扱い）

< 探究課題 >

未来の自分と学校生活との関わり（勤労）

生徒の興味・関心

教師の意図

教材の特性



【参考】

今、求められる力を高める
総合的な学習の時間の展開
中学校編P97～

三つの視点から生徒の姿を思い描く

吉岡中の実践

生徒の興味・関心

単元の導入で、スポーツ選手の話聞き、考えたこと、興味を抱いたこと、疑問をもったこと、やってみたいことなど、生徒に芽生える関心や疑問を想定し、構想に生かせるようにした。

スポーツ選手の話聞いて、努力することの大切さに改めて気付いた。また、目標を達成しようとする強い意志に感心した。私も、陸上部で努力しているけど、まだ足りないな。〇〇さんのように、常に目標をもって努力していきたいな。

競技に関する技能だけでなく、挨拶やマナーも大切なんだな。僕も、学校生活で大切にしているけど、社会に出たらより必要になってくると思う。職場体験でも挨拶やマナーを大切にしていきたいな。

僕は、飲食店で職場体験をするけれど、挨拶やマナーの他にどんなことが大切なのかな。

私は、自分の考えを相手に伝えるのが苦手。〇〇さんは、コミュニケーション能力が大切だと言っていたけど、どうしたら高めていけるかな？



生徒のこれまでの学習や、興味・関心の実態を把握する

授業や何気ない会話、生活の様子等、生徒との関わりから、生徒の心がけや行動、課題等を把握する。

生徒の **自発性** **能動性**

生徒たちは、スポーツ選手の話から、将来の自分について考えることに興味・関心を高めているようだ。職場体験や学校生活を通して、「社会人に求められる力」を考え、その力を身に付けられる単元を考えよう。



三つの視点から生徒の姿を思い描く

吉岡中の実践

教師の意図

どのような力を育てたいのか、全体計画や年間指導計画を基に考え、中心となる学習活動を具体的に思い描いた。



こんなに生徒の興味・関心が膨らんでいるので、「社会人に求められる力」とは何か、繰り返し探究できるように単元を考えましょう。



そうですね。職場体験で事業所の方との関わりから、広い視野で考えられるようになってほしいですね。



学校生活と自己の生き方を結び付けて考えられるようになって欲しいですね。そのために、「社会人に求められる」を身に付けるために、学校生活での取組を考え、実践していくのはどうでしょうか？



そうですね。学級活動と関連を図り、学級での取組を考えて実践するのはどうでしょうか？ 主体的に自らの行動を振り返りながら、調整していくことができると思います。

育てたい資質・能力を明確にする
全体計画や年間指導計画を踏まえて、探究課題の解決を通して、どのような資質・能力を育てたいのか、具体的に考える。

授業のイメージを学年で共有する
大まかな指導のイメージを学年会等で話し合い、共有しておくことで、協働的な単元計画の作成につなげる。

教師の

協働性

専門性

三つの視点から生徒の姿を思い描く

吉岡中の実践

教材の特性

「未来の自分と学校生活との関わり」という教材の価値について分析した。職場体験をはじめとし、自分の将来を描く単元を構想することによって、学び得る内容や、価値ある体験が可能であるかなど、教材の特性を明らかにした。



この地域は、大きな商業施設が多いですね。事業所の方だけでなく、お客さんとの関わりから、礼儀やマナー、コミュニケーションなどの大切さに気付けるのではないのでしょうか。



様々な方との関わりから、「社会人に求められる力」とは何か、迫ることができそうですね。一方、昔からの商店もあり、お客さんの思いや願いについても聞けるかもしれませんね。



商業施設の他、教育や福祉、製造など職業によって、「社会人に求められる力」の捉え方が変わってくるかもしれませんね。



一つの職業を体験して終わるのではなく、友達の考えも共有したいですね。



そうですね。全体計画を見たり、「未来の自分と学校生活との関わり」が教材としてふさわしいか、ウェビングなどで確認したりしてみましょう。

教材と出会う姿を思い描く

生徒が、専門家や地域の人々との関わりを深め合う姿を思い描くことで、単元の中心的な活動を明確にする。

教材がふさわしいかをウェビングで確かめる

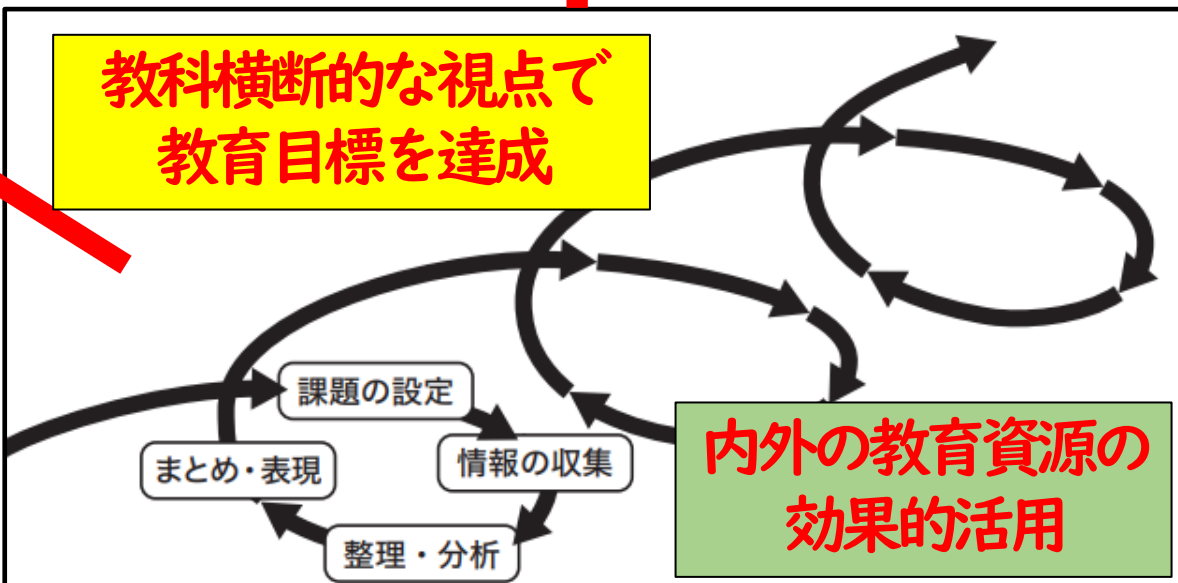
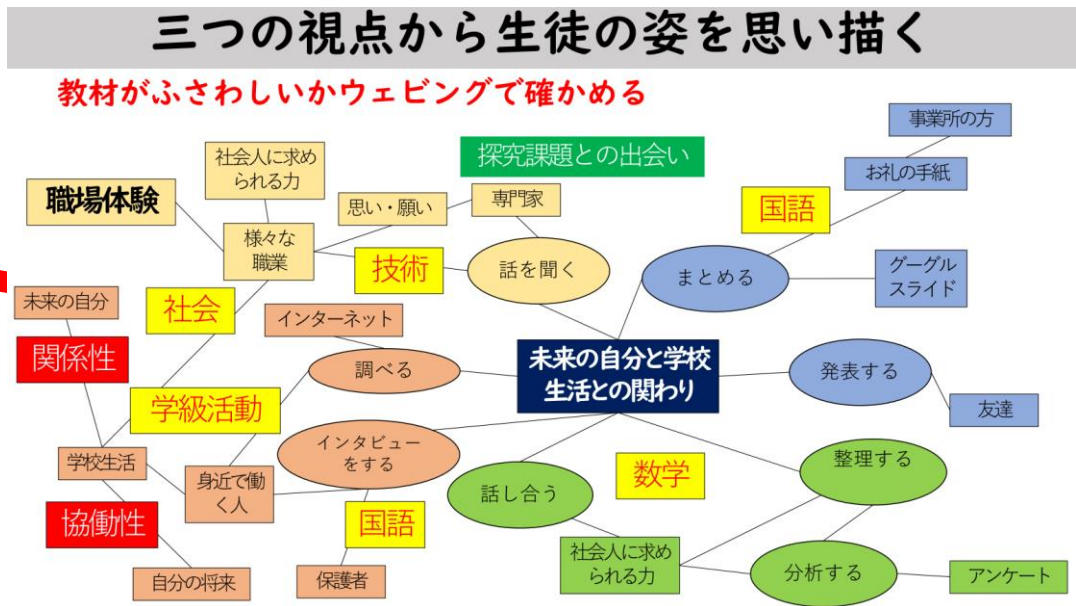
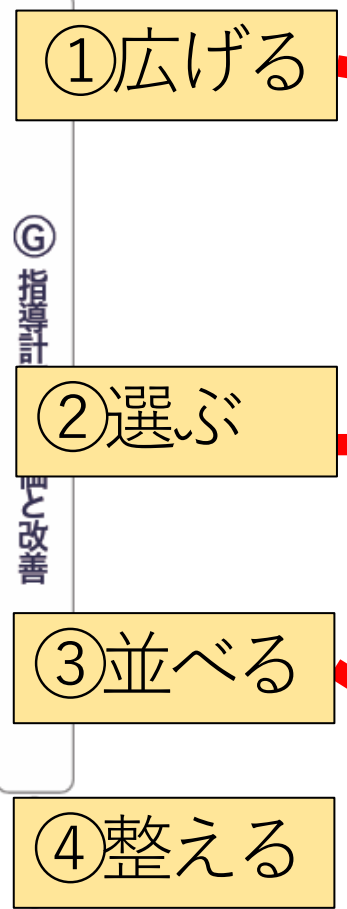
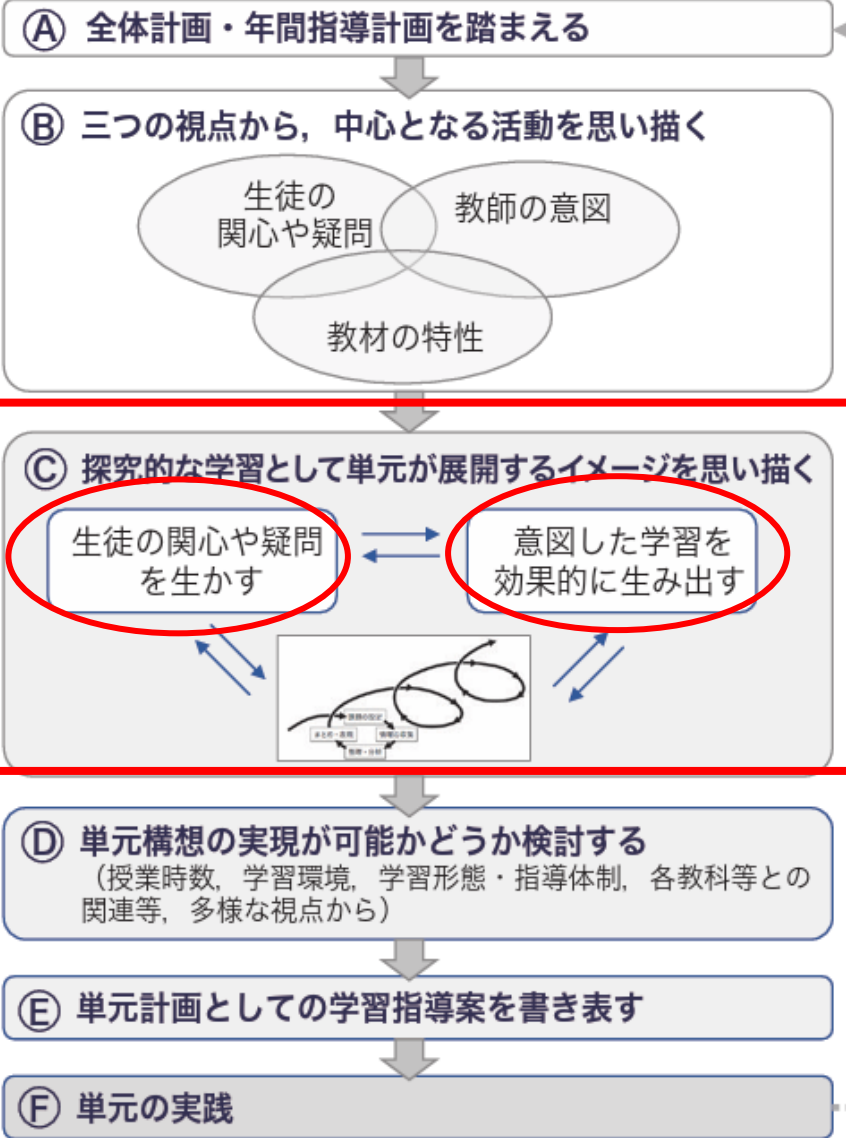
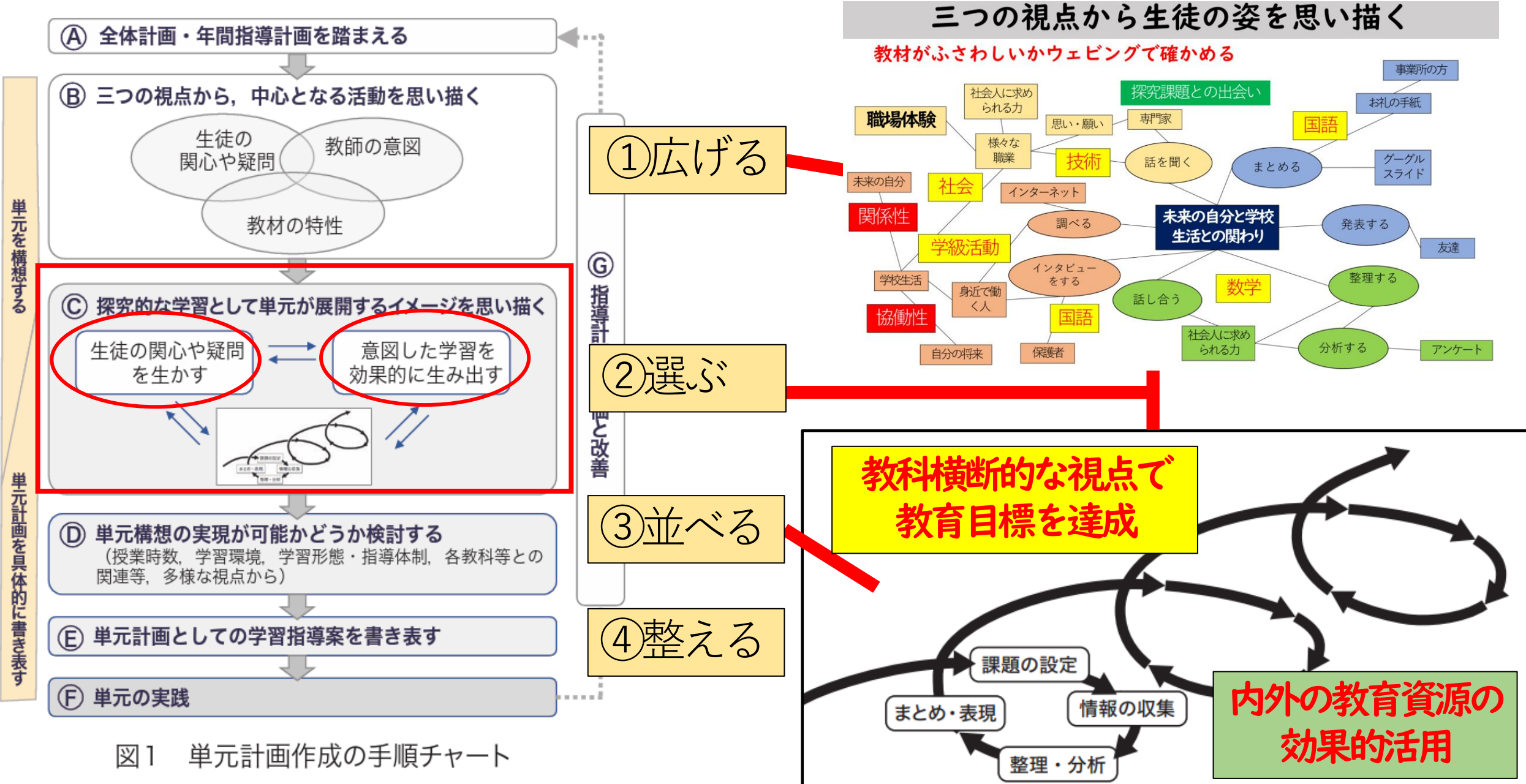
中心の教材を「未来の自分と学校生活との関わり」としたとき、教材としての広がりがあるか、どのような対象が考えられるか、どのような活動が考えられるかを予測する。

教材の

地域性

多様性

探究的な学習として単元が展開するイメージ



本単元の単元計画（「つかむ」過程）

時	学習活動	知	思	意
	探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 8時間			
つかむ	【探究課題と出会う】 ・自分のよさや関心のある職業について考える。 ・地域にある職業について話し合い、職場体験の事業所を決定する。（あ） ・スポーツ選手から、「社会人に求められる力」や理想を実現するために必要な力について話を聞く。（い）			
	【単元の課題を把握する】 ・スポーツ選手と現在の自分の心がけや行動等を比較し、自分の理想の生き方を考える。	①		①
	単元の課題 学校生活を通して「社会人に求められる力」を身に付けよう			
6	【追究の見通しをもつ】 ・事業所ごとに役割分担を話し合い、自分の理想の生き方を探る計画を考える。 ・事業所について、体験の際に必要な情報を収集する。 ・単元の課題を基に、単元名を決定する。			
	単元名 自信と笑顔であふれる未来の自分 ～職場体験や学校生活を生かして～			

どのような人との出会いがよいか

子供の実態を十分に把握しているか

子供がどのような思いをもつか

子供がどのように見通しをもつか

子供が「～する」授業とするための仕掛けが重要

本単元の単元計画（「追究する」過程）

「社会人に求められる力」は何だろう？
知りたい！

他の事業所の友達の
考えを聞きたい！

どうしたらその力を
身に付けられるか考
えたい！

大人の人にも聞いて
みたい！

学校生活での取組を
考えたい！

学級で実践したい！

追究する①	9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 職場体験を通して自分たちの課題を見つけて探究する。 19時間 </div> 【課題の設定】 ・「社会人に求められる力」について個人で考える。 ・自分の長所やなりたて姿を振り返り、身に付けたい「社会人に求められる力」を考える。
	10 11	【情報収集】 ・「社会人に求められる力」や職場体験を実施するために必要なことについて情報収集する。（あ）（ii）
	12 ～ 23	・職場体験を行い、事業所の方に疑問についてインタビューしたり、体験を通して感じた働くことの意味や価値、「社会人に求められる力」等をまとめたります。（iii）
	24	【整理・分析】 ・事業所ごとに「社会人に求められる力」を分類・整理して話し合う。（い）
	25 ～ 27	【まとめ・表現】 ・事業所ごとに職場体験報告会の発表資料を作成する。（あ） ・職場体験報告会を行い、職場体験を通して感じた「社会人に求められる力」について話し合う。（あ）（い）
追究する②	28	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 新たな課題を見だし、継続して追究する。 3時間 </div> 【課題の設定】 ・「社会人に求められる力」を身に付ける方法を考えて、個人課題を設定する。
	家庭 学習	【情報収集】 ・「社会人に求められる力」を身に付ける方法を保護者にインタビューする。
	29	【整理・分析】 ・報告会の内容や保護者へのインタビューを踏まえて、「社会人に求められる力」を身に付ける方法について分類・整理して話し合う。
	30	【まとめ・表現】 ・学校生活の中で行える、「社会人に求められる力」を身に付ける方法を話し合っまとめて。（あ）
学級 活動	・学級や個人で行う「社会人に求められる力」を身に付ける具体的な方法を考える。 ・「社会人に求められる力」を身に付ける方法を実践する。 ・実践を振り返り、取組の改善・変更を話し合う。	

事業所で働いている
人は、どう考えてい
るだろう？
聞いてみたいな！

他の事業所の友達に
も伝えたい！

他の事業所の友達の
意見を基に、もう一
度、社会人に求めら
れる力を考えたい！

子供が「～する」授
業とするために、思
いや願いをイメージ
して学習活動を設定

本単元の単元計画（「追究する」過程）

		職場体験を通して自分たちの課題を見つけて探究する。 19時間
追究する①	9	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会人に求められる力」について個人で考える。 自分の長所ややりたい姿を振り返り、身に付けたい「社会人に求められる力」を考える。
	10	<p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会人に求められる力」や職場体験を実施するために必要なことについて情報収集する。(め)(ii)
	11	
	12	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験を行い、事業所の方に疑問についてインタビューしたり、体験を通して感じた働くことの意味や価値、「社会人に求められる力」等をまとめた
	23	
	24	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所ごとに「社会人に求められる力」を分類・整理して話し合う。(い)
25	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所ごとに職場体験報告会の発表資料を作成する。(か) 	
27	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験報告会を行い、職場体験を通して感じた「社会人に求められる力」について話し合う。(き)(い) 	
		新たな課題を見だし、継続して追究する。 3時間
追究する②	28	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会人に求められる力」を身に付ける方法を考えて、個人課題を設定する。
	家庭学習	<p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会人に求められる力」を身に付ける方法を保護者にインタビューする。
	29	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告会の内容や保護者へのインタビューを踏まえて、「社会人に求められる力」を身に付ける方法について分類・整理して話し合う。
	30	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活の中で行える、「社会人に求められる力」を身に付ける方法を話し合っまとめてみる。(あ)
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> 学級や個人で行う「社会人に求められる力」を身に付ける具体的な方法を考える。 「社会人に求められる力」を身に付ける方法を実践する。 実践を振り返り、取組の改善・変更を話し合う。 	

「社会人に求められる力」を何度も活用していくことで、構造化され生きて働く**概念的知識**へと高まっていくことを期待

他の事業所で体験した生徒の考えを聞いて、「社会人に求められる力」の捉えを広げることが期待

学級活動との関連により、集団及び個人の資質・能力が育まれることを期待

資質・能力を身に付けるために、教師の意図がはっきりと現れている

3. 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本日のまとめ

- 子供自身が自らの思いや願いの実現に向かう学習活動を、教職員が協力して意図的に構想しましょう。
- 子供と共に悩んだり喜んだりしながら、教師も子供と一緒に探究を楽しみましょう。

教師の意図の共有と発揮

子供と共に学ぶ教師の役割

探究的な学習における教師の役割

コーディネーター
思いをつなげる・調整する

サポーター
やる気を引き出す・安心感を与える

相手意識

目的意識

何のためにその力を身に付ける必要があるのかな？

その力が身に付くと、誰の役に立つのかな？

称賛

とてもいい考えだね！

励まし

間違っても大丈夫！

共感

ゆっくりでいいよ
もう少し考えてみよう



考えを整理

もう少し詳しく聞かせて
その力が発揮された姿を想像してみよう
自分の言葉でまとめてみよう

教師は子供と共に学ぶ学習者

3. 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本日のまとめ

- 子供自身が自らの思いや願いの実現に向かう学習活動を、教職員が協力して意図的に構想しましょう。
- 子供と共に悩んだり喜んだりしながら、教師も子供と一緒に探究を楽しみましょう。

三つの視点から生徒の姿を思い描く

生徒の興味・関心

自発性

能動性

教師の意図

協働性

専門性

教材の特性

地域性

多様性

探究的な学習における教師の役割

コーディネーター
(思いをつなげる・調整する)

サポーター
(やる気を持たせる・伴走する)

目的意識

何のためにその力を身に付ける必要があるのかな？

相手意識

その力が身に付くと、誰の役に立つのかな？

とてもいい考えだね！

間違っても大丈夫！

ゆっくりでいいよ。もう少し考えて見よう。

子供に任せる
褒める
見守る



認める
励ます
安心感を与える



考えを整理

もう少し詳しく聞かせて
その力が発揮された姿を想像してみて
自分の言葉でまとめてみよう



教師は子供と共に学ぶ学習者